□松江の玄関

あさひ

「ようこそ松江へ」「いってらっしゃい」「おかえりなさい」…
縁結びの地島根のガイドブックを片手に、あたりを見廻している旅行客。
駅弁やおみやげを選んで、また都会に旅立っていく若者たち。
都会から父母に孫の顔を見せに帰ってくる親子連れ。
JR松江駅の改札口には、今日も暖かい笑顔と迎えと見送りの言葉がこだましていますね。
そうです、朝日地区は松江の玄関なのです。

あさひまち歩き…はじめに

現在では周辺にはホテル、保険や証券会社のビルが立ち並び、朝はゆっくりと改札口を出て駅前のバス乗り場に向かい、職場に向かう人々があふれ、夜には伊勢宮の繁華街に人々が集う松江で最もにぎやかな朝日地区ですが、古文書にも登場することも少なく、明治時代の後半まで沼地と田畑だったところだそうです。

そう言われてみると確かにこの地域は、遺跡や昔からの神社、仏閣も少ないですね。1908年（明治41年）11月8日に日本国有鉄道松江駅の開業とともに松江の新しい玄関として大きく発展していきました。

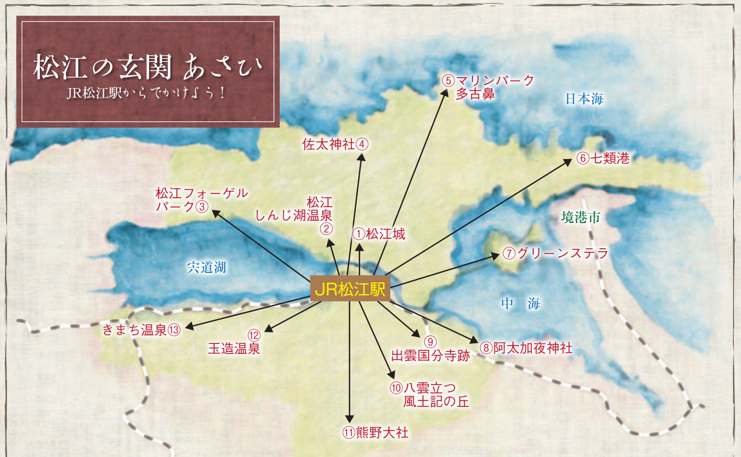
隠岐からの汽船も、この朝日地区の伊勢宮から発着していた時代もあります。それまで海上輸送中心だった時代が、鉄道が人と物資を運ぶ時代へと変わり、やがて自動車全盛の時代に移っていっても、朝日地区は今も松江市の玄関としての機能を果たし続けています。

朝日地区に生活する私たちは、このふるさとを心から誇りに思っています。その魅力を次の世代に、そしてここを訪れる多くの方々に伝えたいと思いました。このまち歩きマップは、そんな思いが詰まった私たち朝日の皆の手作りによるものなのです。

さあ、まち歩きマップを手にとった皆さん、これから一緒にJR松江駅を起点としてこのまちを歩いてみましょう。急ぎ足でなくゆっくりと。ここで育った地域の皆さんがいくつかのコースをご案内します。松江駅の開業から100年の短い歴史の中で、このまちがそして私たちの愛するふるさと松江がどのように変わっていったのかを発見してみませんか。

松江の玄関 あさひ

JR松江駅からでかけよう！



①**松江城**　松江しんじ湖温泉行きバスに乗車し県庁前で下車、12分。

②**松江しんじ湖温泉**　松江しんじ湖温泉行きバスに乗車し終点まで、15分。

③**松江フォーゲルパーク**　バスで松江しんじ湖温泉駅まで行き、15分。そこからは電車に乗りフォーゲルパーク前で下車、10分。

④**佐太神社（佐陀神能はユネスコ無形文化遺産）**　恵曇、古浦又は片句行きバスに乗車し佐太神社前で下車、26分。

⑤**マリンパーク多古鼻**　マリンゲートしまね行きのバスに乗車し終点まで、35分。そこからはコミュニティーバスに乗り換え沖泊で下車、約34分。あとは徒歩で7分。

⑥**七類港（フェリーで隠岐の島へ）**　美保関ターミナル行きバスに乗車し終点まで、約45分。ここで七類線のコミュニティーバスに乗り換え七類港入り口で下車、25分。

⑦**グリーンステラ（牡丹展示施設）**　境港行きバスに乗車し八束町の由志園前で下車、約25分。あとは徒歩で7分。

⑧**阿太加夜神社**　米子行きバスに乗車し西揖屋で下車、23分。あとは徒歩で約10分。

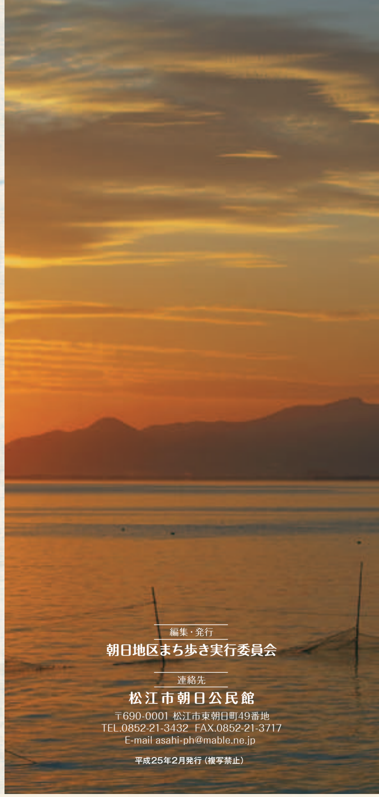
⑨**出雲国分寺跡**　竹矢行きバスに乗車し武内神社前で下車、18分。あとは徒歩で8分。

⑩**八雲立つ風土記の丘**　八雲車庫行きのバスに乗車し風土記の丘入口前で下車、18分。あとは徒歩で5分。

⑪**熊野大社**　八雲車庫行きに乗車し終点まで、22分。そこでコミュニティーバスに乗り換え熊野大社前で下車、16分。

⑫**玉造温泉**　玉造温泉行きバスに乗車し終点まで、30分。

⑬**きまち温泉**　JR山陰本線下りの列車に乗車し来待駅で下車、25分。駅前で来待温泉行きのコミュニティーバスに乗車し健康センター前で下車、15分。



編集・発行
朝日地区まち歩き実行委員会

連絡先
松江市朝日公民館
〒690-0001 松江市東朝日町49番地
TEL.0852-21-3432 FAX.0852-21-3717
E-mail asahi-ph@mable.ne.jp

平成25年2月発行（複写禁止）

駅周辺と東コース

距離 約2.8㎞　時間 約1時間20分

- ＪＲ松江駅北口
- 300m 5分
- ❶松江中央郵便局
- 560m 8分
- ❷宍道湖観光遊覧船のりば
- 200m 4分
- ❸松江政府倉庫
- 200m 5分
- ❹朝日公民館
- 400m 7分
- ❺中国電力ふれあいホール
- 300m 5分
- ❻NTT西日本とNTTドコモ
- 130m 3分
- ❼天皇陛下行幸記念碑
- 250m 5分
- ❽延命地蔵尊
- 400m 7分
- ＪＲ松江駅北口

❶ 松江中央郵便局

ＪＲ松江駅北口から松江東急インを左手にして東に向かい、くにびき道りの交差点を過ぎるとすぐに見えてきます。
松江郵便取扱所が開設されたのは明治5年のことです。昭和61年に移転し、県内の郵便集中局として大きな機能を担っています。

❷ 宍道湖観光遊覧船のりば

大橋川沿いに東に歩いて行くと沢山のボートが見えて来ます。
ここから宍道湖観光遊覧船“はくちょう号”に乗れます。この場所は昭和50年頃までは、貨物流通の拠点として貨物船の出入りが盛んで、国鉄松江駅からの臨港線も敷設されていました。

❸ 中国四国農政局島根農政事務所 松江政府倉庫

今度は大橋川を背にして南に向かって歩いてみましょう。
昭和10年に米穀倉庫として松江市が敷地を提供して建設されました。それを政府が借上げ、建設費償還後は国に寄付されたもので、平成10年からは低温倉庫に生まれ変わりました。

❹ 松江市朝日公民館

松江政府倉庫を過ぎて南に歩くと朝日公民館があります。
昭和35年に朝日小学校内に併設されましたが、平成2年に松江市立第三中学校の複合施設として新たに建設され地域のまちづくり、社会教育の拠点となっています。

❺ 中国電力松江営業所と ふれあいホール

今度は西に向かって歩いてみましょう。ふれあいホールが見えてきます。
昭和63年母衣町から移転しました。元第一高校（開星高校の前身）があったところです。
電気と暮らしの展示コーナーがあり、ギャラリーでは、市民の絵画などの作品展示会などが行なわれています。

❻ ＮＴＴ西日本とＮＴＴドコモ

ここからはＮＴＴの電波塔に向かって北の方角に歩きます。
松江で電信業務が始まったのは明治12年で、電話業務は明治40年郵便局内で始まりました。現在はＮＴＴ西日本島根事業部となっています。ＮＴＴドコモ社屋が完成したのは平成12年のことです。

❼ 天皇陛下行幸記念碑

ＮＴＴ西日本の向かい側には大型ショッピングセンターイオンがあります。
この地には昭和4年当時、片倉製糸工場がありましたが、昭和50年に生産を中止しました。現在のイオン松江店の正面玄関植え込みの中に、昭和天皇行幸記念碑があります。

❽ 延命地蔵尊

ＪＲ松江駅に向かって西の方角にあるいてみましょう。
山陰線の高架下に延命地蔵尊がお祭りしてあります。昭和15年頃、近くの市民が大橋川でお地蔵さまのお頭（かしら）を見つけ、胴体を造ってお堂を建てたものです。崇拝すると家が繁栄するそうですよ。

松江市内で最も交通量の多いところ松江の今の姿を充分に感じていただけましたか。

大橋川・伊勢宮コース

距離 約1.6㎞　時間 約1時間

- ＪＲ松江駅北口
- 110m 2分
- ❶松江テルサ
- 420m 8分
- ❷大橋川遊歩道広場
- 370m 9分
- ❸賣布神社
- 10m 1分
- ❹新大橋通り
- 150m 3分
- ❺旧米江旅館
- 100m 2分
- ❻伊勢宮児童遊園地
- 450m 8分
- ＪＲ松江駅北口

❶ 松江テルサ

ＪＲ松江駅北口を出ると左に一面ガラス張りの大きな建物があります。ここが松江テルサです。
正式名称は松江勤労者総合福祉センター。1階にある「からくり時計」からは定刻になれば水鳥と音楽隊が四季をテーマにした曲を奏でて愉快に登場してくれます。

❷ 大橋川遊歩道広場

松江駅を背にして北に歩いてみましょう。大橋川に突き当たったところにある細長い広場です。
昭和30年代までは、このあたりには多くの造船所や鉄工所が立ち並び、隠岐行きの汽船乗り場があったところです。現在では、はくちょう号第2乗船場があります。

❸ 賣布神社（めふじんじゃ）

大橋川沿いを西に歩いて行くと新大橋南詰になります。ここにある神社は賣布神社です。
「出雲国風土記」に「賣布社」（めふノやしろ）と記された古社であり、『めふ』とは、海藻や草木の豊かに生えることを意味しています。

❹ 新大橋通り

新大橋を背にして南の方角に歩いてみましょう。
この通りは大橋川と天神川を結ぶ「和多見川」があったところです。昭和8年に埋め立てられてできた道路は新大橋通りと呼ばれ、伊勢宮町は繁華街として発展し、昭和初期の風情を残して賑わっています。

❺ 旧米江旅館

新大橋通りから一歩入って行きましょう。
歓楽街の一画にあるこの建物は、全国各地から優れた資材を集め、昭和2年に完成したと伝えられています。戦前の繁栄の面影を伝える貴重な歴史遺産であり平成14年登録有形文化財に指定されています。

❻ 伊勢宮児童遊園地

少し分かりにくいですが、繁華街の中にあります。
建物の合間に、昭和を感じさせる遊園地がひっそりと残っています。昭和30年代頃までは、紙芝居屋やポン菓子屋もやって来て、子供たちの歓声も響いていました。今は町内の有志が花づくりを楽しんでいます。

伊勢宮を過ぎてJR松江駅に帰ってきました。夜の街は一転します。ぜひ夜も満喫してください。

天神川・松原コース

距離 約2.7㎞　時間 約1時間10分

- ＪＲ松江駅南口
- 300m 4分
- ❶私塾普通学舎跡
- 130m 2分
- ❷天神川
- 300m 4分
- ❸松江市立第三中学校跡
- 450m 8分
- ❹松江地方気象台
- 520m 10分
- ❺松江市総合文化センター
- 200m 3分
- ❻津田の松原跡
- 550m 10分
- ❼工業学校修道館跡
- 230m 4分
- ＪＲ松江駅南口

❶ 私塾普通学舎跡

ＪＲ松江駅南口から歩いて天神川を渡ると、そこに石碑があります。
ここは渡部寛一郎氏により、明治17年2月に開設された私塾があったところです。明治21年10月に閉鎖するまで、県内外から180余名の塾生が学びました。

❷ 天神川

近くの横断歩道を渡り、今来た新作橋を通って右手天神川沿いに歩いてみましょう。
元禄2年松平三代藩主綱近の頃に開削された川で、昭和30年頃までの夏には、トンボがたくさんいて子供たちの楽しい遊び場で、釣り人の姿もありました。

❸ 松江市立第三中学校跡

中央小学校の校庭を過ぎると「ここに三中ありき」という石碑が立っています。
昭和23年8月から平成7年3月までの半世紀にわたってこの地に第三中学校があり、14,000名余りが学びました。平成7年に元朝日小学校があった場所に移転しました。

❹ 松江地方気象台

今度は天神川を渡り南に向かって歩いてみましょう。国道9号線を渡り坂道の上に気象台があります。
昭和13年10月に松江測候所として開設され、天気予報などの発表や各種の観測を行っています。毎日9時・21時の2回、気球で高層気象観測も行なっています。

❺ 松江市総合文化センター

９号線からくにびき道路沿いに南に歩き横断歩道を渡って今度は東に歩くと右手に見えて来ます。
ホールと図書館の複合施設で、愛称はプラバホール（千鳥の意味）。特徴はパイプオルガンで、中・四国地方の公共ホールではここだけにしかないそうです。

❻ 津田の松原跡

プラバホールを過ぎて駅に向かって北に歩いてみましょう。
東西のこの通りは、古くから「津田の松原」と呼ばれていたところ。昭和12年に国の史跡名勝天然記念物の指定を受けました。当時は438本もあった松も平成6年に残り1本が切り倒され、400年の歴史を閉じました。

❼ 工業学校修道館跡

天神川を渡り、西に向かって進むと中央小学校に来ます。ここにその石碑が立っています。
現在古志原にある県立松江工業高等学校は、明治40年に工業学校修道館として設立され、大正8年から昭和23年6月までここ中央小学校の場所にありました。

さあまたＪＲ松江駅に帰って来ました。松江の歴史の一部が発見できたでしょうか。